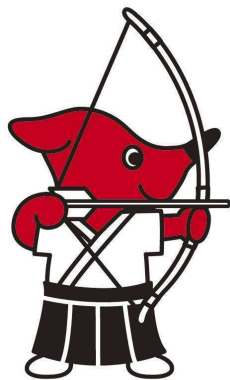


# 弓道競技大会 競技役員マニュアル



ゆめ半島 **千葉国体 2010<sup>+</sup>**  
今 原 雄 の 風 と な り こ の 一 瞬 に 輝 き を  
第 65 回 国 民 体 育 大 会

2009年2月  
千葉県弓道連盟

# 進行委員の役割

千葉県弓道連盟競技部

次 第	内 容
<b>1. 競技(予選1回目、2回目)</b>	
<b>1) 基本&lt;遠的・近的共通&gt;</b>	
開始宣言	射場中央の所定の位置に進み、 「ただ今から、遠的競技 予選1回目を開始します」・「ただ今から、遠的競技 予選2回目を開始します」 「ただ今から、近的競技 予選1回目を開始します」・「ただ今から、近的競技 予選2回目を開始します」
選手入場	開始宣言後、選手、監督に入場指示
替弦・替弓・予備矢	監督が射場内に持ってはいる。監督不在や持ちきれないときは、進行係が監督代行として持ってはいる。
競技開始	所定の位置(射場中央の本座線上)にて、選手の跪坐、赤旗収納を確認して「始め」と号令 注) 遠的では、「起立」から間をおかずに「始め」と号令
行射中	弦切れの処理 監督の異議申立の受付と処理 射場審判の無効宣言への対処
行射終了時	今の立の3本目の最後(遅い方の立)の弦音で次の立の選手を入場させる
疑問の確認	最後の弦音の後、異議申立がないことを確認する。異議申立がある場合は対処する。
記録確認	疑問判定のある場合、的前へ疑問判定の確認を指示する
記録確認	記録完了を記録係から確認して、的に矢取りを指示する
次立の行射開始	矢取りが完了し、赤旗が収納されたときに「始め」を号令
最終立の記録完了後	最終立の的中判定が確定し、監督が退場後、射場中央の所定の位置に進み、 「以上で、遠的競技 予選1回目を終了します」・「以上で、遠的競技 予選2回目を終了します」 「以上で、近的競技 予選1回目を終了します」・「以上で、近的競技 予選2回目を終了します」
<b>2) 予選通過チーム決定競技</b>	
開始宣言	射場中央の所定の位置に進み、 「ただ今から、決勝トーナメント進出の同点(同中)競射を開始します」
競射	競射は各自1射であるが、該当チーム数によって対処すること
3チーム以上	各自1射行射後に退場する。次チームは順次入場する。
2チーム	各自1射行射後、本座に復して結果を待つ。続行の場合、本座で各選手に替矢を渡す。
替矢の渡し方	監督から替矢全部を受け取り、選手の右前方から羽を見せて、選手に選ばせる。
<b>2. トーナメント抽選</b>	
概略	8チームの監督が立順で入場し、進行主任の持つ封筒から一つを選んで、中の数字を確認する。 監督は番号札と市名札を発声して進行主任に渡す。 進行主任は、その札を復唱し、進行係に渡す。 進行係は、その市名札をトーナメント表の該当数字の所に貼付する。
<b>1) 基本&lt;遠的・近的共通&gt;</b>	
抽選会場設営	進行委員、会場委員にてイスを配置する。イスは12個(進行委員C~Fは不要)
入場	競技委員長、審判委員長の着席を確認後、進行C)D)E)が入場し、トーナメント表の所定の位置に整列する。 次いで射場係長A)、進行主任B)が入場し、所定の位置に整列する。
(放送)	「ただ今から、決勝トーナメントの組み合わせ抽選を開始します。決勝トーナメント出場チームを紹介します。○番○市・・・以上の8チームです。」
開始宣言	次に、F)が先導し、監督1)~8)が入場し、所定に位置に着席する。 射場係長A)が、中央に出て委員長に向かい、「ただ今より、決勝トーナメントの組合せ抽選を開始します」と宣言する。その後席に戻る。
抽選開始	
	進行主任B)が監督1)の前に行き、立ち順の入った封筒を見せて、監督に選ばせる。監督が選んだ封筒を開け、中に書いてある立ち順番号を言う。B)は、監督から立ち順番号の紙とチーム名称札を受取、委員長に見せてチーム名と立ち順を言う。その後、進行委員C)~E)に渡す。
	進行C)~E)は、順次B)から受け取った立ち順表とチーム名称札を持って、トーナメント表掲示板に、立ち順番号に合った場所にチーム名称札を貼る。これを8チーム分繰り返す。
	進行主任B)は、8チーム抽選が終わったら順次、1)~8)の監督から封筒を回収する。

## 進行委員の役割

千葉県弓道連盟競技部

次 第	内 容
確認	進行主任B)は、トーナメント表示板の横に行き、立ち順1番から8番までを読み上げる。
終了宣言	射場係長A)が、中央に出て委員長に向かい、「以上で、決勝トーナメントの組合せ抽選を終了します」と宣言する。その後席に戻る。
退場	進行委員F)が先導して、監督1)～8)が退場する。(この時、揖はしない)次に、進行C)～E)、進行主任B)、射場係長A)が退場する。最後に退場する射場係長A)が全員を代表して揖をする。その後、委員長が退場する。
設営変更	会場委員が競技形式の設営を行う。
<b>3. 競技(決勝トーナメント)</b>	
<b>1)トーナメント試合順</b>	
	①1回戦(順々決勝) X 4立 各自4射
	②5位～8位決定戦 X 2立 各自2射
	③準決勝戦 X 2立 各自4射
	④3位4位決定戦 X 1立 各自2射
	⑤決勝戦 X 1立 各自4射
<b>2)基本&lt;遠的・近的共通&gt;</b>	
開始宣言	射場中央の所定の位置に進み、 「ただ今から、遠的競技 決勝トーナメント1回戦を開始します」 「ただ今から、近的競技 決勝トーナメント1回戦を開始します」
選手入場	開始宣言後、選手、監督に入場指示
替弦・替弓・予備矢	監督が射場内に持ってはいる。監督不在や持ちきれないときは、進行係が監督代行として持ってはいる。
競技開始	所定の位置(射場中央の本座線上)にて、選手の跪坐、赤旗収納を確認して「始め」と号令
注)	遠的では、「起立」から間をおかずに「始め」と号令
行射中	弦切れの処理 監督の異議申立の受付と処理 射場審判の無効宣言への対処
行射終了時	選手は、本座に復して結果を待つ 最後の弦音の後、異議申立がないことを確認する。異議申立がある場合は対処する。
疑問の確認	疑問判定のある場合、的前へ疑問判定の確認を指示する
勝敗の判定	射場記録係から、結果表を受け取り、所定の位置で結果を発声する
同点(同中)時	「ただ今の結果、〇〇市 〇点(〇中)、〇〇市 〇点(〇中) 同点(同中)のため競射を行います」
勝敗確定時	「ただ今の結果、〇〇市 〇点(〇中)、〇〇市 〇点(〇中) よって〇〇市の勝ち」「退場」
記録確認	記録完了を記録係から確認して、的前に矢取りを指示する
次立の入場	今の立の「退場」で、次の立の入場を指示する
次立の行射開始	矢取りが完了し、赤旗が収納されたときに「始め」を号令
最終立の記録完了後	最終立の的中判定が確定し、監督が退場後、射場中央の所定の位置に進み、 「以上で、遠的競技 決勝トーナメント1回戦を終了します。引き続き5位から8位決定戦を行います」 「以上で、近的競技 決勝トーナメント1回戦を終了します。引き続き5位から8位決定戦を行います」
<b>3)同点(同中)競射&lt;遠的・近的共通&gt;</b>	
選手	選手は本座に控えている
替矢の渡し方	監督から替矢全部を受け取り、選手の右前方から羽を見せて、選手に選ばせる。
注)	選手間の移動は、選手の背中側を歩く
行射	決勝トーナメント基本と同じ
<b>4)5位～8位決定戦</b>	
開始宣言	射場中央の所定の位置に進み、「ただ今から、5位～8位決定戦を開始します」
要領	選手は、トーナメント立順に合わせて2チームずつ入場し、2射射終わった後に順次退場する。 4チーム終了時に、同点(同中)の場合、各自1射の競射を行う。 4チームに順位が付いた時点で5位～8位決定となる。
<b>5)準決勝戦</b>	
開始宣言	射場中央の所定の位置に進み、「ただ今から、準決勝戦を開始します」
要領	トーナメント基本と同様で、本座で勝敗の判定を行う。
<b>6)3位4位決定戦</b>	
開始宣言	射場中央の所定の位置に進み、「ただ今から、3, 4位決定戦を開始します」
要領	トーナメント基本と同様で、本座で勝敗の判定を行う。
<b>7)決勝戦</b>	
開始宣言	射場中央の所定の位置に進み、「ただ今から、決勝戦を開始します」
要領	トーナメント基本と同様で、本座で勝敗の判定を行う。
記録完了後	的中判定が確定し、監督が退場後、射場中央の所定の位置に進み、 「以上で、遠的競技 決勝トーナメントが終了しました」 「以上で、近的競技 決勝トーナメントが終了しました」



## 放送委員の役割

千葉県弓道連盟競技部

次 第	原 稿
<b>1. 開会式</b>	
開会式案内	「開会式を始めます。射場にお集まりください」
司会進行	全て放送係で進行する。・・・競技委員長(山口)が横で補佐
	「ただ今より〇〇大会の開会式を始めます。一同 礼」
国旗拝礼	「初めに石井勝之(いしいかつゆき)県連会長の先導により国旗に拝礼します。」
会長あいさつ	「会長挨拶 石井勝之(いしいかつゆき)県連会長」
△ 優勝盾返還	「前回優勝チーム〇〇市より優勝盾(たて)の返還です。」
△ 競技上の注意	「競技上の注意 〇〇審判委員長」
事務連絡	「事務連絡 湯澤(ゆざわ)理事長」
競技説明	「競技説明 山口競技委員長」
閉会	「以上で開会式を終わります。一同 礼」
<b>2. 矢渡</b>	
演武者紹介	注)放送のタイミングは、射手が入場後、的正面に正対した時に始める。 「射手(いて) 〇〇〇〇(□□□□)〇士、第一介添 〇〇〇〇(□□□□)〇士、第二介添 〇〇〇〇(□□□□)〇士」
矢渡終了後	「以上で矢渡が終わりました。」 「競技役員は所定の位置についてください」準備ができ次第競技を開始します。」
<b>3. 競技(予選1回目、2回目)</b>	
	注)原則、進行係の宣言に合わせて放送する。その他臨機応変に状況に応じて放送を行う。 「ただ今より、予選〇回目を開始します」
1)個人戦(一般大会)	注)立番号の紹介のみで選手紹介はしない 注)射位にて腰を切って開き足をする頃に放送する 「ただ今の立は、〇番です」
2)団体戦	
選手紹介	注)始めの号令から1の立の弓構え終了までに紹介を終わること 「選手を紹介します」 「第1射場 〇〇県 1の立 〇〇選手、2の立 〇〇選手、3の立 〇〇選手」 「第2射場 〇〇県 1の立 〇〇選手、2の立 〇〇選手、3の立 〇〇選手」
結果紹介	「先ほどの結果」 ＜遠的＞「第1射場 〇〇県 〇〇点、第2射場 〇〇県 〇〇点」 ＜近的＞「第1射場 〇〇県 〇〇中、第2射場 〇〇県 〇〇中」
1回目終了	進行の宣言の後、「以上で予選1回目が終了しました。予選2回目は〇時〇分開始です」
2回目開始	「ただ今より、予選2回目を始めます」
予選終了	進行の宣言の後、「以上で予選が終了しました。引き続き決勝戦を行います」
同点競射	＜遠的＞「ただ今から決勝戦進出を決定するための同点競射を行います」
同中競射	＜近的＞「ただ今から決勝戦進出を決定するための同中競射を行います」
<b>4. 決勝トーナメント抽選</b>	
準備	進行役員が整列し終わり、監督の入場準備ができたときに、案内放送をする。
チーム紹介	「ただ今から、決勝トーナメントの組み合わせ抽選を開始します。決勝トーナメント出場チームを紹介します。〇番〇〇市・・・以上の8チームです。」
結果紹介	進行主任が最終確認報告をした後に、監督の退場中に放送で結果を放送する。 「ただ今の抽選結果をお知らせします。〇年〇の部、第1試合、〇〇市対〇〇市、・・・第4試合、〇〇市対〇〇市、 以上のように決定しました。」
<b>5. 競技(決勝)</b>	
	注)進行に合わせて状況を逐次放送する
1)個人戦(一般大会)	
競射	例:「第1射場1の的 男子3段以下の部 2位3位決定の遠近競射です」 例:「第1射場 女子4段以上の部 1位2位決定の射詰競射です」
結果	例:「男子3段以下の部 2位〇〇さん、3位〇〇さん」 例:「称号の部 優勝〇〇さん、2位〇〇さん」 注)称号者も先生と呼ばずに「さん」とする。
2)決勝トーナメント(団体)	
1回戦	「ただ今より決勝トーナメント1回戦を始めます」
5位～8位決定	「ただ今より5位から8位決定戦を始めます」
準決勝	「ただ今より準決勝戦を始めます」
3、4位決定	「ただ今より3、4位決定戦を始めます」
決勝	「ただ今より決勝戦を始めます」
選手紹介	注)選手名紹介は1回戦、準決勝、決勝のみで、5位～8位、3、4位決定戦は選手は紹介せずチーム名のみ紹介する 「選手を紹介します」 「第1射場 〇〇県 1の立 〇〇選手、2の立 〇〇選手、3の立 〇〇選手」 「第2射場 〇〇県 1の立 〇〇選手、2の立 〇〇選手、3の立 〇〇選手」
結果紹介	注)進行の結果報告の後に放送する 「ただ今の結果、 第1射場 〇〇県 〇〇点(中)、第2射場 〇〇県 〇〇点(中)、 よって、〇〇県の勝ちと決定しました」
同点(中)競射	「ただ今の結果、第1射場 〇〇県 〇〇点(中)、第2射場 〇〇県 〇〇点(中)、引き分けのため引き続き競射を行います」

次 第	原 稿
競技終了	「以上で全競技が終了しました」
<b>6. 閉会式</b>	
閉会式案内	「閉会式を始めます。射場にお集まりください」
司会進行	全て放送係で進行する。・・・競技委員長(山口)が横で補佐
	「ただ今より閉会式を始めます。一同 礼」
成績発表	「成績発表 優勝〇〇県、2位〇〇県、3位〇〇県、～8位〇〇県」
表彰	成績1位から8位の代表者は前に進んでください」
会長あいさつ	「会長挨拶 石井勝之(いしいかつゆき)県連会長」
閉会	「表彰された皆さんは写真撮影がありますので、その場にお残り下さい。役員の皆さんは、後片づけをお願いします。以上を持ちまして、閉会式を終わります。お疲れさまでした。一同 礼」





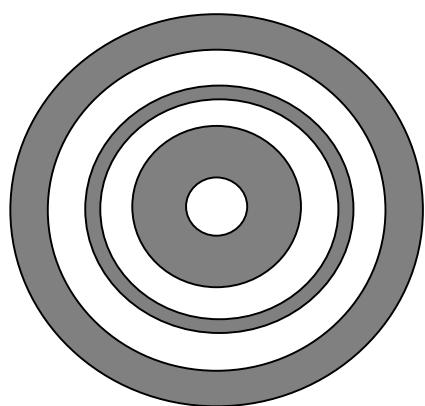
# 的前審判と的前委員の役割

千葉県弓道連盟競技部

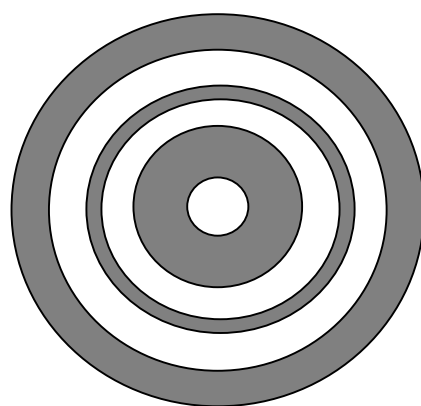
次 第	内 容
<b>1. 準備・的かけ</b>	
	添付の図面を参照し、図面通りに設置すること。
<遠的>	得点的(100cm)、中心高さ97cm、角度15度、的間隔6m、転倒防止、得点表示板は第2射場側に2台設置、
<近的>	霞的(36cm)、1番的は通常より30cm後ろに下げる。高さは道系を両サイドのフックにかけて的枠上面を道系に合わせ、角度5度、的間隔1.8m、射場間隔3m、ごう串は2本で固定、
<b>2. 遠的競技(予選、トーナメント共通)</b>	
得点色	黄色:10点、赤色:9点、青色:7点、黒色:5点、白色:3点、黒色:0点
判定	競技規則37条、47条、49条の判定条件による。
<b>1) 行射中のフロー</b>	
的前係(呼称係)	的前審判に行射の状況(○番 大三一会一離れ)を伝える
的前審判	的の方を注視し、色と点数で発声する。「きいろ10点」、「あか9点」、「あお7点」、「くろ5点」、「はずれ0点」
	判定不明の場合は、「疑問 赤」のように低い方の点数の色を発声し、的中圖に矢所を記録する。
的前係(表示係)	的前審判の発声通りに看的表示板に1番から順に表示する。
	「疑問 赤」の場合は、赤9点に重ねて「？」を表示する。
的前係(確認係)	看的表示板が、的前審判の発声通りに表示されているか、1回ごとに確認する。間違いがあるときは、訂正が間に合えば訂正させて、その旨を的前主任に知らせ、的前主任はトランシーバで、射場記録係に伝える。間に合わなかった時は、行射終了後に的前審判の判定を受けて、看的表示板を訂正する。
(失)	矢こぼれ等の「失」の場合、進行係からの的前主任にトランシーバで伝達される。的前主任は、皆に聞こえるように伝達する。
<b>2) 疑問判定があった場合の確認フロー</b>	
的前審判2名	疑問に該当する矢所得点を判定し、マイクを使って「きいろ10点」、「あか9点」のように結果を発声し、手持ち表示板も同時に明示する。
	複数の疑問のある場合、行射の早い矢より順番に判定する。
的前係(表示係)	的前審判の判定に従って、看的表示板の「？」表示を、発声明示された得点に替える。
<b>3) 各立の行射終了し、判定が確定した場合のフロー</b>	
的前係(赤旗係)	第1射場、第2射場とも行射が終了したのを確認して赤旗を出す。
的前審判A	第1射場、第2射場とも的前に出て、看的表示板と的的中状態を直接確認して、射場に向かってOKの合図をする。
的前主任	射場記録係から射場別の合計点「第○射場○○点」の連絡をトランシーバで受けて、看的表示係に伝える。
的前係(表示係)	射場別に合計点を看的表示板に表示する。
的前主任	進行係からの「矢取り」指示をトランシーバで受けて、矢取り係に「矢取り」を指示する。
注)	行射が終了し、異議申し立てがなく、記録完了の確認がとれたら、射場進行係から「矢取り」の指示がくる。
的前係(矢取係)	赤旗が出たら的の横に待機して、「矢取り」指示を待つ。「矢取り」指示後に矢を抜き始める。はずれ矢は「矢取り」指示前に拾い集める。矢取り完了後に、矢の数を確認して退場する。
注)	矢取りの入場、退場では、矢取り係は整列して礼をする。
注)	矢取り時間は、30秒以内とする。はずれ矢は、行射中にどこにあるかを控えておくこと。
◆矢取り基本動作(第1射場)	矢取り係と補助員の2人が第1射場の右にから入場し(的の後側(時計9時の位置)で立ち、矢取り係が左手で矢の刺さった部分の的を押さえ、右手で矢を抜く。抜いた矢は、1本ずつ背中側に控えてる補助員に手渡しする。補助員は羽を上にして矢の中央を左手で矢尻側を右手で保持して次の矢を受け取る。外れた矢も同様に場所を移動して矢を抜き補助員に渡す。全ての矢を抜き終わったら二人揃って前に進んで第1射場の入場時に待機した場所に戻り、射場に一礼して退場する。
(第2射場)	入退場の位置が第2射場側に変わるだけで、矢取り動作は同じ。
的前係(表示係)	「矢取り」のタイミングで、看的表示板をクリアする。
的前係(赤旗係)	矢取り係の退場を確認して、赤旗を引き込める。
的前係(矢返係)	射場ごとにまとめ、所定の矢返し場所の矢立へ運ぶ。
注)	板付、管への土の付着、紛失を確認すること。破損、異常があった場合、分かるようにしておくこと。

次 第	内 容
<b>3. 近的競技(予選、トーナメント共通)</b>	
判定	競技規則第37条の判定条件による。
<b>1) 行射中のフロー</b>	
的前係(呼称係)	的前審判に行射の状況(○番 大三一会)を伝える
的前審判A	的の方を注視し、「あたり」、「はずれ」と発声する。
	判定不明の場合は、「疑問」と発声し、的中図に矢所を記録する。
的前審判B	対向する的の方を注視し、判定しづらい矢所の的中判定し、対向する的前審判Aに手持ち表示板で「○」、「X」を明示する。
	的前審判Aの判定に従って、手持ち表示板と看的表示板(電光表示板)が正しく表示されていることを確認する。
的前係(表示係)	的前審判の発声通りに看的表示板(電光表示板)に1番から順に「○」、「X」を表示する。電光表示板は下から表示させていく。
	「疑問」の場合は、何も表示せず(又は?)に、的前主任からトランシーバで射場記録係、進行係に伝える。
的前係(確認係)	看的表示板が、的前審判の発声通りに表示されているか、1回ごとに確認する。間違いがあるときは、訂正が間に合えば訂正させて、その旨を的前主任に知らせ、的前主任はトランシーバで、射場記録係に伝える。間に合わなかった時は、行射終了後の的前審判の判定を受けて、看的表示板を訂正する。
(失)	矢こぼれ等の「失」の場合、進行係からの前主任にトランシーバで伝達される。的前主任は、皆に聞こえるように伝達する。
<b>2) 疑問判定があった場合の確認フロー</b>	
的前審判2名	疑問に該当する矢所での中判定し、マイクを使って「あたり」、「はずれ」を発声し、手持ち表示板「○」、「X」も同時に明示する。
	複数の疑問のある場合、行射の早い矢より順番に判定する。
的前係(表示係)	的前審判の判定に従って、看的表示板(電光表示板)の無点灯(又は?)を、発声明示された「○」、「X」に替える。
<b>3) 各立の行射終了し、判定が確定した場合のフロー</b>	
的前係(赤旗係)	第1射場、第2射場とも行射が終了したのを確認して赤旗を出す。
的前審判A	第1射場、第2射場とも的前に出て、看的表示板と的的中状態を直接確認して、射場に向かってOKの合図をする。
的前主任	進行係からの「矢取り」指示をトランシーバで受けて、矢取り係に「矢取り」を指示する。
	注) 行射が終了し、異議申し立てがなく、記録完了の確認がとれたら、射場進行係から「矢取り」の指示がくる。
的前係(矢取係)	第1射場、第2射場とも第2射場側から入場し、3番的から前に向かって矢取りを行い、第2射場側へ戻って退場する。
	注) 国体本番では、補助員が第2射場から入場し、第1射場側へ退場する。
◆矢取り基本動作	第2射場から入場し的前で蹲踞し、左手で的の上端を押さえ、右手で矢を抜く。抜いた矢は、羽を上にして左手に持ちかえ同様に次の矢を抜く。すべての矢を抜いたら、矢の中央を右手で矢尻側を左手で保持して羽を障害物のない矢道側に向けて前に進んで第1射場側へ退場する。
的前係(表示係)	「矢取り」のタイミングで、看的表示板をクリアする。
的前係(赤旗係)	矢取り係の退場を確認して、赤旗を引き込める。
的前係(矢返係)	射場ごとにまとめ、所定の矢返し場所の矢立へ運ぶ。
	注) 板付、筈への土の付着、紛失を確認すること。破損、異常があった場合、分かるようにしておくこと。

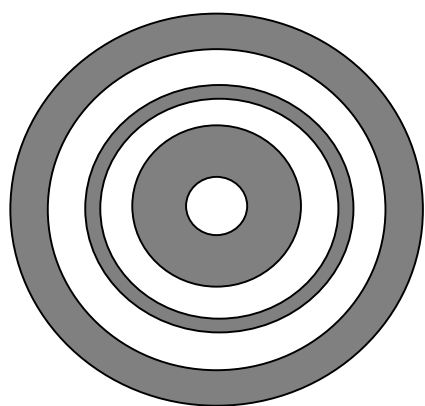
第 \_\_\_\_\_ 射場  
\_\_\_\_\_ 的(番)  
\_\_\_\_\_ 本目



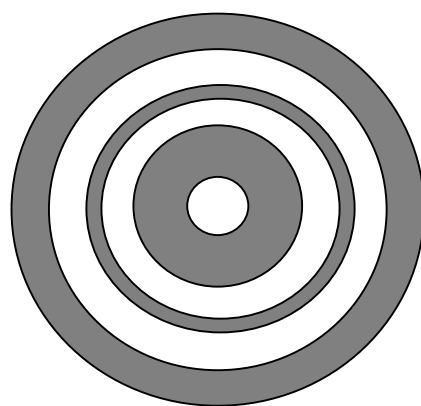
第 \_\_\_\_\_ 射場  
\_\_\_\_\_ 的(番)  
\_\_\_\_\_ 本目



第 \_\_\_\_\_ 射場  
\_\_\_\_\_ 的(番)  
\_\_\_\_\_ 本目



第 \_\_\_\_\_ 射場  
\_\_\_\_\_ 的(番)  
\_\_\_\_\_ 本目



# 第 回国体 遠的矢所記録票

10月 日( )第 日目

立順	都道府県名

**射場**            第1            第2

**種別**            成年男子      成年女子  
                     少年男子      少年女子

**競技 予選**    1回          2回          同点・同順競射

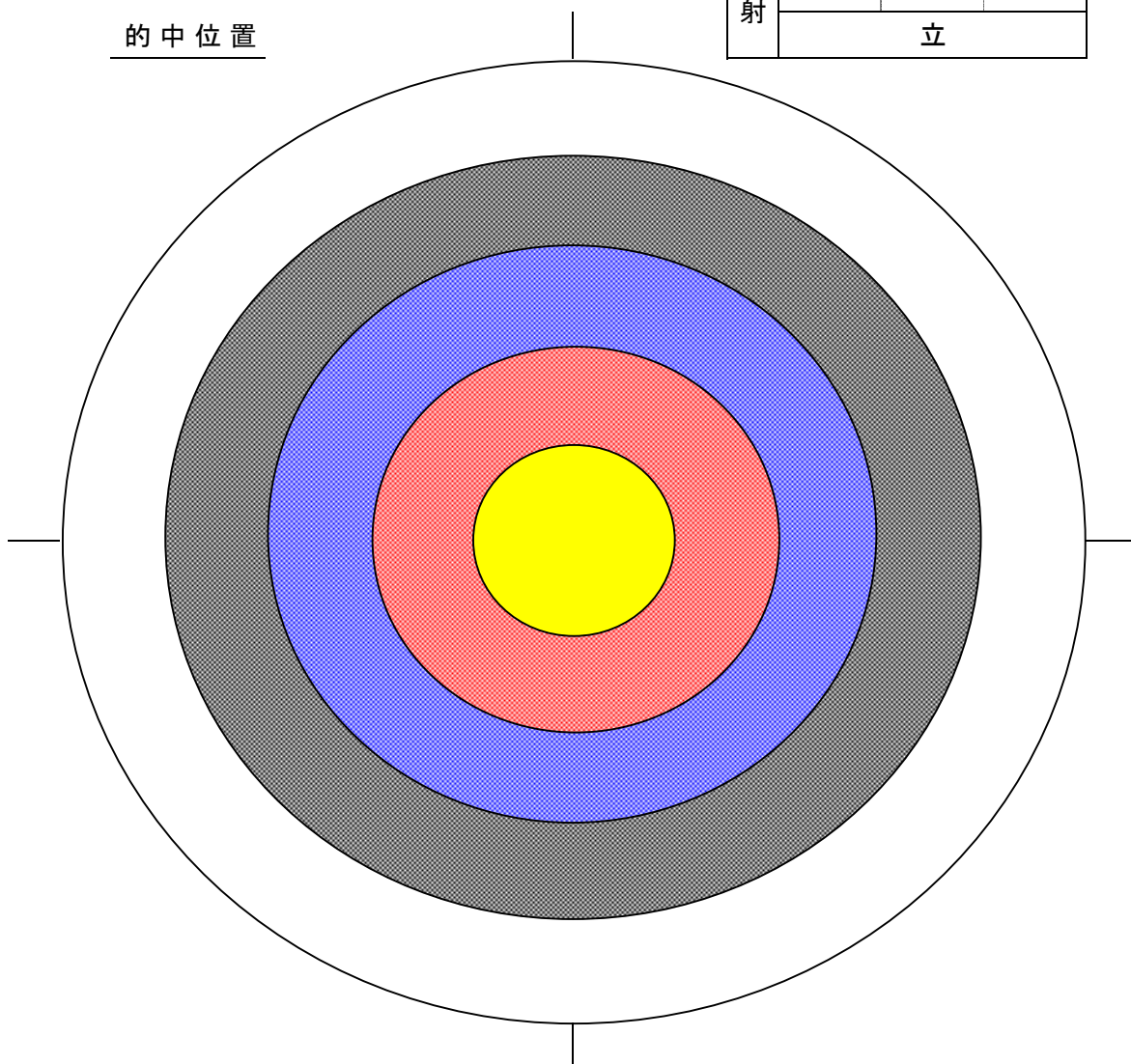
**決勝**        1回戦      準々決勝    5~8位決定戦

                     準決勝      3位決定戦    決勝

## 得点

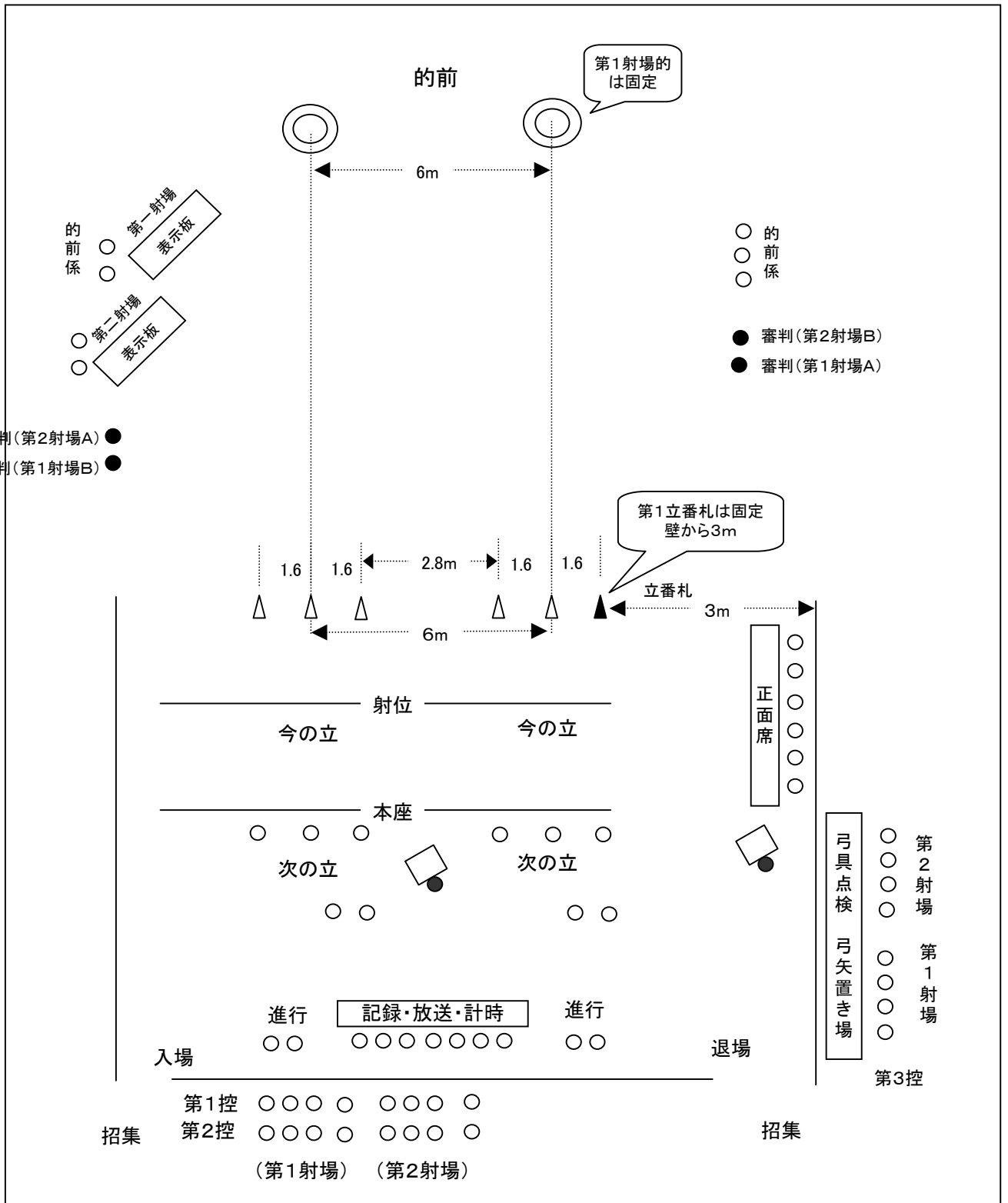
合計			
4	⑫	⑪	⑩
3	⑨	⑧	⑦
2	⑥	⑤	④
1	③	②	①
射	3	2	1
	立		

的中位置





## 遠的競技 3人立・2射場の場合(天台)



- 注) 1番札▲を壁から3mに固定し、そこを基準に後ろの立番札を置いていく。  
 的位置は第1射場の的を固定し、第2射場の的は第1射場の的の中心からの  
 的の間隔の距離を測る。
- 注) 射手間隔は、1.6m(競技規則1.3m以上)  
 第1射場3番と第2射場1番との間隔は、2.8m(競技規則1.3m以上)  
 的の中心間隔は、6m(競技規則5m以上)とする。
- 注) 射場内は「今の立」と「次の立」とし、「次の立」は椅子に着席する
- 注) 第3控で選手、監督の確認と弓具点検を行う



